



【資料4-3】

古賀市環境人材バンク

～持続可能な未来のために行動する人づくりに向けて～



持続可能な未来のために行動する人の必要性

🌐 「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 」社会の実現

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、17のゴール（目標）と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）」です。SDGsの大切な理念のひとつである「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 」社会の実現のためには、経済・社会・環境という3つの主要素を調和させることが欠かせません。

🌐 「環境」の持続可能性

相互に関わり合う17のゴールを「経済」、「社会」、「環境」の三つの層に分類して総合的にとらえる「SDGsウェディングケーキモデル」では、土台になっているのは、ゴール13（気候変動に具体的な対策を）、ゴール14（海の豊かさを守ろう）、ゴール15（陸の豊かさも守ろう）とゴール6（安全な水とトイレを世界中に）からなる「環境」。その上に、「社会」が、さらにその上に「経済」が示されています。

これは、「経済」は「社会」に、「社会」は「環境」に支えられていることを意味しています。ウェディングケーキの土台となる「環境」の持続可能性なしには、社会や経済の持続的な発展は成り立ちません。



「SDGsウェディングケーキモデル」

🌐 自分から行動を起こす“ちから”

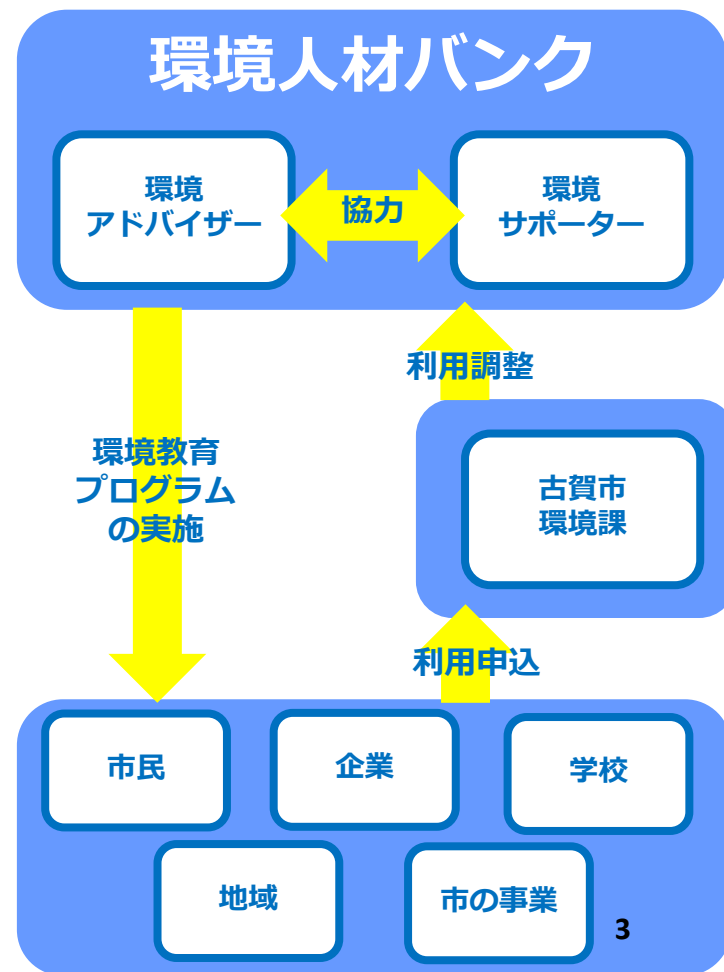
「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 」社会の実現のためには、子どもから大人まで、市民一人ひとりが、人と人、人と社会、人と自然とのつながりを理解しようと努め、地球規模の課題を自分のこととして捉えて、その解決に向けて自分から行動を起こす“ちから”を身に付けることが必要です。

自分から行動を起こす“ちから”を身につける環境教育の推進に向けて

古賀市環境人材バンク

古賀市では、これまでに市民や小学生を対象とした環境教育を行ってきました。これまでの環境教育をさらに充実、発展させていくため、令和3年度からは年齢層に応じた環境教育・学習の充実を図る「古賀市環境人材バンク」を創設いたします。

この制度では、「古賀市環境人材バンク」に登録した「環境アドバイザー」が「環境サポーター」と協力して、地域や学校、企業などでESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の視点を取り入れた環境教育プログラムを実施することにより、持続可能な社会づくりの担い手を育成するとともに、人の環、活動の場を広げ、古賀市で行われている多くの環境教育活動を発展させて、地域や企業、学校での環境教育が自発的に行われるような仕組みづくりを行います。



環境人材バンクに登録する人材とプログラム

環境人材バンク

環境教育プログラム

- 市の環境方針に沿っているもの
- 市の各種方針と相反しないもの
- 宗教・政治・反社会的活動ではないもの

環境
アドバイザー

補助

環境
サポーター

アドバイザーが
人材バンクに登録されている
環境教育プログラムを実施

環境に関する
専門的な
知識や経験

環境に関心

学校の授業

公民館での講座・勉強会
企業での研修会
放課後児童クラブなど

古賀市民

16歳以上

古賀市内に
事業所を持つ
事業者
及び従業員

古賀市で
活動する
団体及び
構成員

環境アドバイザーと環境教育プログラムの登録

アドバイザーは人材バンクに登録されているプログラムを行います

| アドバイザー | 新規 | 新規 | 登録済 | 登録済 | 登録済 | |
|--------|--|---|---|---|---|---|
| プログラム | 新規 | 登録済 | 新規 | 登録済 | 変更 | |
| 状況 | 新規にアドバイザー登録を希望する主体が、プログラムを新規に作成し、登録をする場合 | 新規にアドバイザー登録を希望する主体が、すでに登録されているプログラムを行うことを希望する場合 | すでに登録されているアドバイザーが、プログラムを新規に作成し、登録をする場合 | すでに登録されているアドバイザーが、すでに登録されているプログラムを行うことを希望する場合 | すでに登録されているアドバイザーが、自身が作成したプログラムの変更をする場合 | |
| 審査対象 | アドバイザー | <ul style="list-style-type: none"> ●環境に関する専門的な知識や経験 | <ul style="list-style-type: none"> ●環境に関する専門的な知識や経験 ●プログラムを行うことができる | — | <ul style="list-style-type: none"> ●プログラムを行うことができる | — |
| | プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ●市の環境方針に沿っている ●市の各種方針と相反しない ●宗教・政治・反社会的活動ではない | — | <ul style="list-style-type: none"> ●市の環境方針に沿っている ●市の各種方針と相反しない ●宗教・政治・反社会的活動ではない | — | <ul style="list-style-type: none"> ●市の環境方針に沿っている ●市の各種方針と相反しない ●宗教・政治・反社会的活動ではない |

古賀市環境アドバイザー・環境教育プログラム（登録・変更・更新）申請書（様式第1号）

アドバイザー・プログラムの登録

環境サポーターの登録

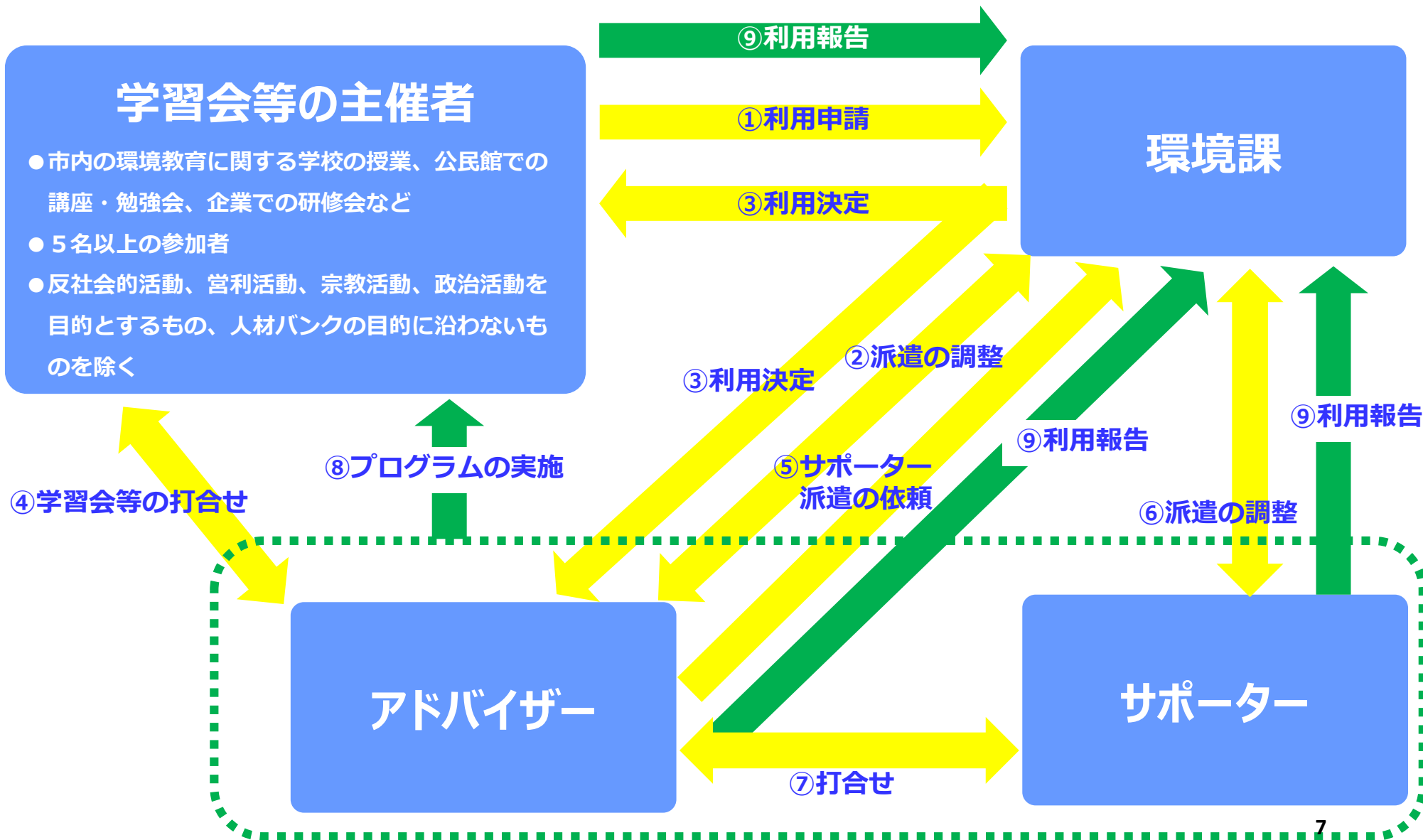
サポーターはアドバイザーの補助を行います

環境に関心がある人・団体・事業者は
どなたでも！

古賀市環境サポーター（登録・変更・更新）申請書（様式第2号）

サポーターの登録

環境人材バンクの利用



勉強会・交流会

環境人材バンク

勉強会・交流会

参加

環境
アドバイザー

参加

環境
サポーター

参加

人材バンクに興味のある主体

古賀市民

古賀市内に
事業所を持つ
事業者
及び従業員

古賀市で
活動する
団体及び
構成員

※勉強会・交流会への参加は、
アドバイザー、サポーターの
更新の要件となります。

実施メニューとして取り入れたい環境教育プログラム例(1)

地球環境



- ◇ 「温暖化について学ぼう」
クイズなどを交えながら楽しく温暖化について学ぶ座学。温暖化防止のため、自分たち一人ひとりにいま何ができるかを学びます。

- ◇ 「グリーンカーテンを育てて温暖化防止！」
現在、環境課で取り組んでいる市内8小学校への講座。種からグリーンカーテンまでの育成を通じて、地球温暖化の原因や仕組みを学び、自分たちにできる省エネや節電について考えます。

- ◇ 「電気ってどうやって作るの？体験してみよう」
手回し発電機を用いた科学実験等を通じ、楽しく電気のしくみを学びます。また、家庭でできる省エネ、ライフスタイルの見直しにも取り組みます。

実施メニューとして取り入れたい環境教育プログラム例(2)

資源循環



- ◇ 「廃油からせっけんづくり」
普段の生活で身近な油を使ってリサイクル体験をします。また、3Rについて学び、なぜ3Rが大切なのかを学び、リサイクルの知識、意識を高めて普段からできることに取り組む姿勢を身につけます。
- ◇ 「リサイクル体験教室」
雑紙の分別などのリサイクル体験を通じて、ゴミ減量化や3Rについて学び、自分たちにできるリサイクルについて考えます。
- ◇ 「ecoクッキング」
食材を無駄なく使う調理実習体験を通じて、食品ロスや食べ物と環境のつながりについて学びます。
- ◇ 「分別した後どうなるの？」
「ゴミは分別したあとどうなるの？」ゴミの分別が大切なことは理解し分別していたけれど、その後、分別ゴミがどのようにリサイクルされているかご存知ない方は多いのではないのでしょうか？その答えがこの講座に参加したら分かります。資源循環を学んでさらに分別名人になりましょう。

自然環境・生活環境



- ◇ 「水辺の生きものしらべ」
身近な川に入り、そこに生息する生きものの採集、観察を行います。生きものの名前、特徴を知り、郷土愛を育み、自然環境の大切さについて学びます。
- ◇ 「森の自然体験教室」
五感を使って木とじっくりふれあうことで、森に関心をもち、自然環境の大切さ、環境保全への意識を高め、持続可能な自然環境のために、自分たちができることを学びます。
- ◇ 「マイクロプラスチックに関するお話」
身近で大きな環境問題であるマイクロプラスチック。自分たちの普段の何気ない生活が、生態系に大きな影響を与えていることを学び、一人ひとりが今後の生活の見直しについて考えます。

その他



◇ 「SDGsカードゲーム体験会」

カードゲーム形式でSDGsについて学び、地球規模の課題も、各地域が抱える課題も、根本原因や構造は変わらないということ、環境、経済、社会のつながりを実感してもらうことで、持続可能な社会をつくるための必要な視点を学びます。

◇ 「気候変動と防災、減災」

近年、日本にもみられる豪雨や大型台風の発生と気候変動の関係や、これからの防災、減災について学び、自分たちにできることを考えます。